

第3回台湾建国烈士 鄭南榕先生を偲ぶ会

戒厳令下の台湾において、公開の場で初めて台湾の独立建国を叫び、あるいは228事件の真相究明を求め、遂には一死をもって国民党の圧政に抗し、台湾に民主・自由の道を開いた国土・鄭南榕烈士。

鄭南榕烈士は1988年（昭和63年）末、台湾独立建国聯盟主席をつとめていた許世楷氏（現駐日代表）の「台湾共和国憲法草案」を、自由時代社を主宰し自ら編集長をつとめる週刊誌「自由時代」に掲載した。年が明け、検察は叛乱罪容疑で召喚しようとしたが、鄭烈士は頑として応じず台北市内の自社に籠城、国民党の圧制に抗議し、完全な言論の自由を求め、「国民党が私を逮捕できるとすれば私の屍だけだ」と宣言して、4月7日午前9時過ぎ、警官隊が包囲する中、自らガソリンをかぶって火を放ち、覚悟の自決を遂げられた。享年42。



鄭南榕烈士

今年は鄭南榕烈士の親友だった詩人の李敏勇先生に「自由への道、そして台湾の魂」と題してご講演していただき（日本語通訳：林建良氏）また、葉菊蘭・鄭南榕夫人（前高雄市長）も参列の予定です。下記の次第で開催いたしますので、奮ってご参加くださいますよう謹んでご案内申し上げます。

記

- 日時** 2007年4月1日(日) 午後2時30分～7時30分(開場:2時)
- 会場** 文京区民センター 2F 2A
東京都文京区本郷4-15-14 TEL:03-3814-6731(文京シビックセンターの斜向い)
【交通】都営地下鉄:三田線・大江戸線「春日駅」徒歩1分
東京メトロ:丸ノ内線・南北線「後樂園駅」徒歩3分
JR総武中央線「水道橋駅」徒歩10分
- 講師** 李敏勇先生(詩人、鄭南榕基金会初代理事長)
- 演題** 「自由への道、そして台湾の魂」【日本語通訳:林建良氏】
- 参加費** 1,000円
- 懇親会** 同会場にて、午後5時30分～7時30分【懇親会費:2,000円】
- 主催** 鄭南榕顕彰会(宗像隆幸会長 日台交流教育会、日本李登輝友の会、台湾研究フォーラム)
- 後援** 在日台湾同郷会、在日台湾婦女会、台湾独立建国聯盟日本本部、日本台湾医師連合、怡友会
- お申込** 3月28日(水)まで、FAXかメールにて、日本李登輝友の会まで
FAX:03-5211-8810 E-mail:ritouki-japan@jeans.ocn.ne.jp

第3回台湾建国烈士 鄭南榕先生を偲ぶ会 申込書

ご氏名: _____ TEL: _____

懇親会:出席 欠席(いずれかに をつけてください)